
2022年度 第3四半期 業績

決算説明資料

先生と患者さんに喜ばれたい



2022年11月8日

2022年度 第3四半期 業績

■業績概要	4
■事業別売上高・総利益	5
■通信販売事業の売上高・総利益	6
■その他の事業の売上高・総利益	7
■販売費及び一般管理費	8
■貸借対照表	9
■設備投資・減価償却費	10

2022年度 通期業績予想

■通期業績予想	12
■年間配当(予想)	13

補足資料

■新物流センター建設について	14
----------------	-------	----

注記事項

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2022年度 第3四半期 業績概要

2022年度 第3四半期 業績概要



(単位:億円)	2021年度	売上 構成比	2022年度	売上 構成比	増減	
					金額	前年比
売上高	306.0	100.0%	314.7	100.0%	+8.7	102.8%
総利益	87.8	28.7%	88.5	28.1%	+0.7	100.8%
営業利益	35.5	11.6%	31.7	10.1%	▲3.8	89.3%
経常利益	36.3	11.9%	32.1	10.2%	▲4.1	88.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22.1	7.2%	21.0	6.7%	▲1.1	95.0%
1株当たり 四半期純利益	220.92円	—	209.80円			

うち、2022年度より

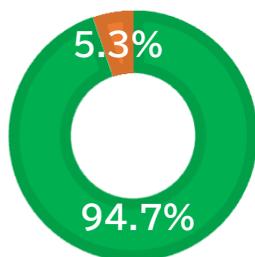
※「収益認識に関する会計基準」を適用した影響:売上高 ▲1.6億円、総利益▲0.9億円、営業利益、経常利益▲0.1億円

2022年度 第3四半期 事業別売上高・総利益

(単位:億円)		2021年度3Q	2022年度3Q	増減	
				金額	前年比
通信販売事業	売上高	292.4	298.2	+5.8	102.0%
	総利益	80.1	80.4	+0.3	100.3%
	通販事業の 総利益率	27.4%	27.0%	—	—
その他の事業	売上高	13.6	16.5	+2.9	121.3%
	総利益	7.6	8.1	+0.5	106.3%
	その他事業 総利益率	56.1%	49.2%	—	—

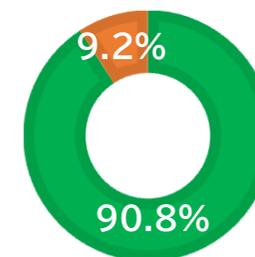
売上高

■通信販売事業 ■その他事業

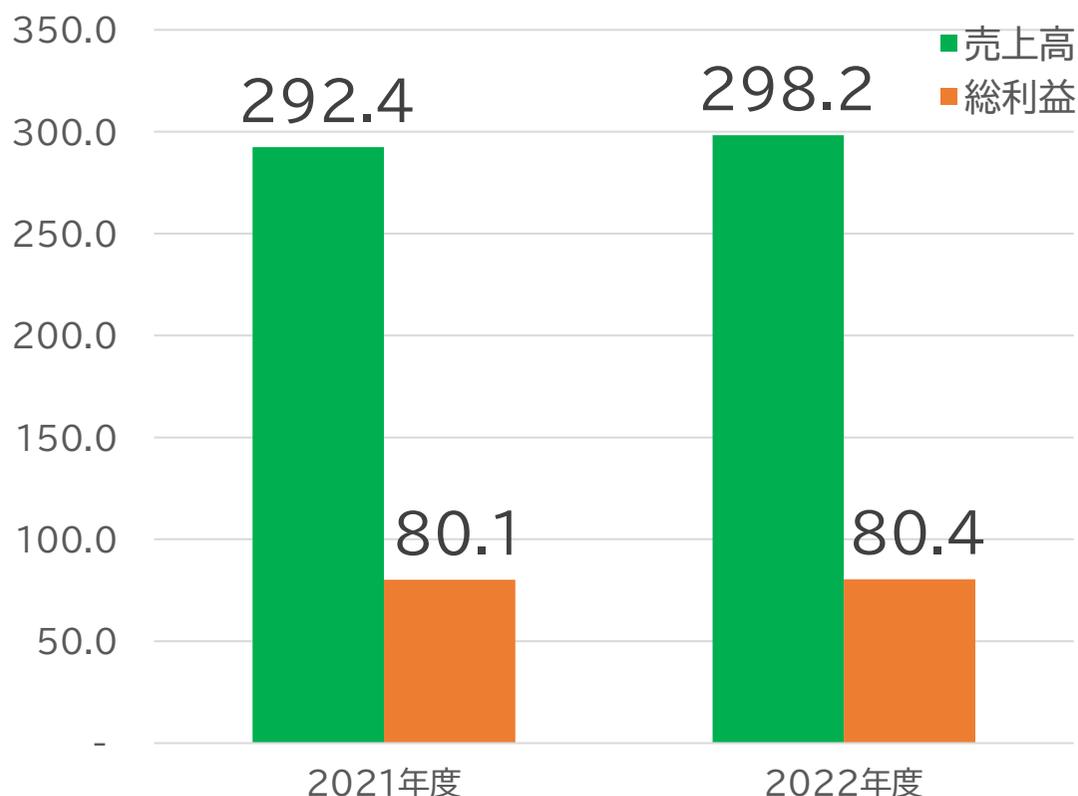


総利益

■通信販売事業 ■その他事業



通信販売事業



売上収益 +5.8億円

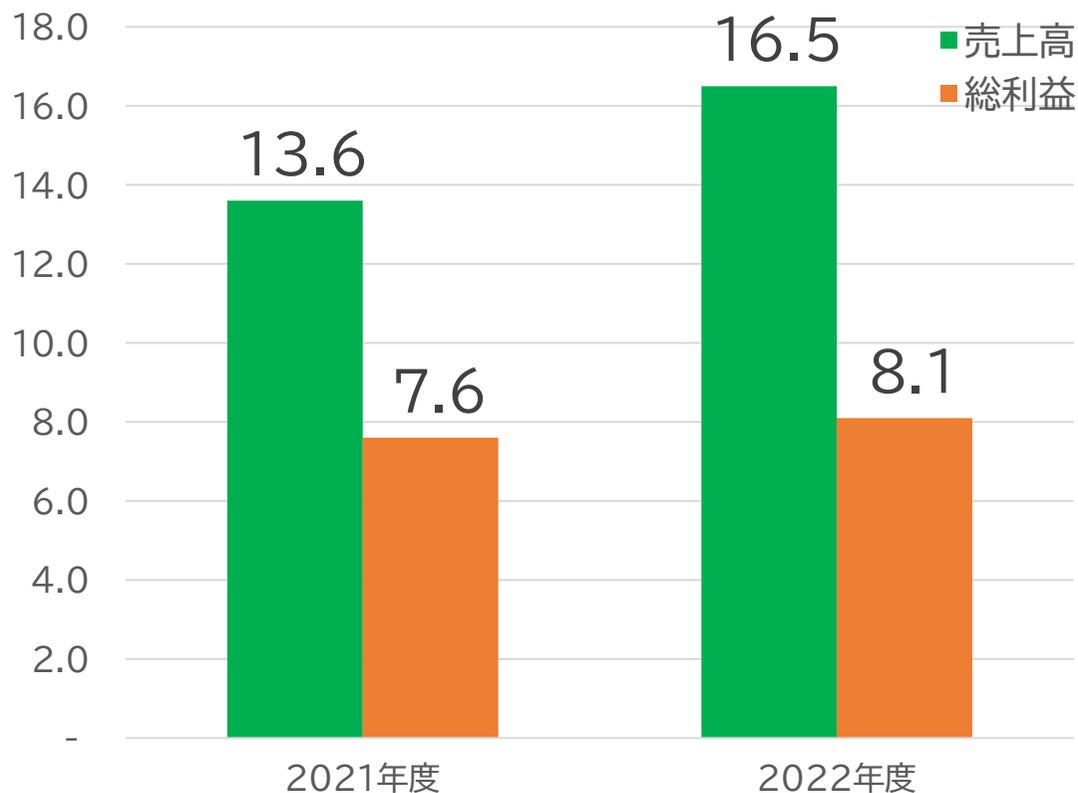
- 【+】・引き続き、感染対策商品の需要が堅調
- ・20年度の新規口座開設顧客の継続取引
 - ・ロジ人員強化、システム・マテハン改修で需要に対応
 - ・新物流センター完成で、更なる出荷能力増強を予定
 - ・歯科用ユニットの販売が好調
 - ・Ciデンタルショー開催で大型機器販売に寄与
- 【-】・調剤薬局向けは、自主回収の発生で低調

総利益 +0.3億円

- 【+】・総利益率の高い大型機器販売は好調
- 【-】・円安・原材料費上昇の影響で総利益率は微減

(単位:億円)	2021年度	2022年度	増減	
			金額	前年比
歯科関連	252.4	257.2	+4.8	101.9%
歯科関連以外	40.0	41.0	+0.9	102.3%

その他の事業



売上収益 +2.9億円

- 【+】・2022年4月CAD/CAMインレーの保険適用拡大
- ・脱金属の影響でCAD/CAM技工用機器の需要が増
- ・技工物製造は、高齢者向け義歯需要回復
- ・上記、脱金属の影響で歯科技工物製造の受注も増加
- ・透明マウスピース型矯正の受注増

- 【-】・電力価格高騰の影響により電力売上収益が減少

総利益 +0.5億円

- 【+】・CAD/CAM販売は好調を維持
- 【-】・ディーラー経由販売の増加で総利益率は微減

(単位:億円)	2021年度	2022年度	増減	
			金額	前年比
CAD/CAM関連事業 (技工用機器・システム販売、技工物製造)	10.0	13.4	+3.5	134.7%
電力小売取次	2.0	1.8	▲0.2	87.8%

2022年度 第3四半期 販売費及び一般管理費



(単位:億円)	2021年度	2022年度	増減	
			金額	前年比
給与手当 ※1	9.2	10.2	+1.1	111.6%
倉庫人件費 ※2	4.3	5.7	+1.3	131.0%
広告宣伝費 ※3	3.7	4.3	+0.6	116.1%
荷造運賃発送費	15.3	16.2	+0.9	105.8%
減価償却費 ※4	2.4	2.6	+0.2	109.7%
従業員数	305	318		
臨時雇用者数	481	597		

※1 給料手当 : 従業員の採用を推進したことにより、昨年より人件費が増加

※2 倉庫人件費 : 倉庫人件費に関しても同様ロジスティクスセンターの能力引き上げのため採用に注力

※3 広告宣伝費 : 販売価格改定により総合カタログ発刊

※4 減価償却費 : 前事業年度に 基幹システム、販売サイト、マテハンに設備投資をしたことによる減価償却の増加

貸借対照表

(単位:億円)		2021年 12月末	2022年 9月末	増減	
				金額	前年比
流動資産		144.5	135.8	▲8.7	94.0%
固定資産		54.7	159.3	+104.7	291.5%
資産		199.2	295.1	+95.9	148.2%
流動負債		35.2	111.7	+76.5	317.4%
固定負債		4.2	5.0	+0.8	118.8%
純資産		159.8	178.4	+18.6	111.7%
負債・純資産		199.2	295.1	+95.9	148.2%
自己資本		159.8	177.8	+18.0	111.3%
自己資本比率		80.2%	60.3%	—	—
現預金		36.5	11.3	▲25.2	31.0%
売掛債権・未収入金		38.1	45.9	+7.8	120.5%
棚卸資産		61.7	71.8	+10.1	116.4%
仕入債務		14.8	17.0	+2.2	115.0%
有利子負債		—	71.0	+71.0	—

(単位:億円)	2021年度	2022年度	増減
設備投資※	2.6	91.1	+88.5
減価償却費	2.5	2.6	+0.1

※2022年度 主な設備投資:新物流センター関連(石川県能美市にて建設中) 89.8億円

2022年度 通期業績予想

2022年度 通期 連結業績予想

(単位:億円)	2021年度 (実績)	2022年度 (予想)	増減	
			金額	前年比
売上高	412.1	425.5	+13.4	103.3%
営業利益	45.2	44.6	▲0.6	98.5%
経常利益	46.1	44.7	▲1.4	97.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	28.2	28.4	+0.2	100.6%
経常利益率	11.2%	10.5		
一株当たり当期純利益	282.09円	283.81円		

※現時点では、2022年2月10日に発表した業績予想からの修正はございません。
通期の業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示いたします。

1株当たり連結純利益および配当金

(単位：円)	2020年度 (実績)	⇒	2021年度 (実績)	⇒	2022年度 (予想)
1株当たり連結純利益	292.09	⇒	282.09	⇒	283.81
中間配当金	0.00	⇒	0.00	⇒	0.00
期末配当金	58.42	⇒	28.21	⇒	未定
年間配当金	58.42	⇒	28.21	⇒	未定

※2020年度(実績)には、創立20周年記念配当金(1株当たり29円21銭)を含んでおります

配当性向目標：連結純利益の10%

現時点では、配当予想額は未定です

新物流センター建設について

1. 背景と目的

近年の売上増加及びコロナ禍における感染対策商品・衛生用品の注文増による出荷能力の強化を検討2019年11月に経済産業省「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」の採択を受け、2023年中旬の稼働に向け計画を推進しております。

新物流センターの当社の新物流センター建設計画は、「補助金対象事業B(国民が健康的な生活を営む上で重要なものの生産拠点等の整備)」(補助率 約3/4) に該当します。

新物流センターの稼働により、既存の施設と比較し出荷能力が約3倍以上になる予定です。

2. 現在の建設工事の進捗状況

現在の建設工事の進捗状況に関しましては、下記のとおり計画通りに進んでおります。

建物	: 92%
倉庫管理システム	: 55%
倉庫内設備	: 23%

3. 現時点での計画概要

建設予定地	: 石川県能美市福島産業団地 土地区画整理事業施工地区内 5街区2
投資内容	: 用地 約65,329㎡
竣工時期	: 2023年1月(予定)
稼働時期	: 2023年中旬(予定)
投資予定額	: 約229.7億円(予定)

※「サプライチェーン対策補助金」の交付を受け、残りの建設資金は自己資金及び銀行借入で賄う予定。

先生と患者さんに喜ばれたい

Cjメディカル